

授業計画（シラバス）

学科	建築学科 住宅デザイン科 インテリアデザイン科 建築CGデザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	カラーコーディネート	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	公益社団法人色彩検定協会（A・F・T）の色彩検定2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	前期は出席率をもって評価する。後期は本試験の結果をもって評価するが、本試験不合格者は定期試験（模擬試験）・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
1	講義1				1	講義19				
2	講義2				2	講義20				
3	講義3				3	講義21				
4	講義4				4	講義22				
5	講義5				5	講義23				
6	講義6				6	講義24				
7	講義7				7	講義25				
8	講義8				8	講義26				
9	講義9				9	講義27				
10	講義10				10	講義28				
11	講義11				11	講義29				
12	講義12				12	講義30				
13	講義13				13	講義31				
14	講義14				14	講義32				
15	講義15				15	講義33				
16	講義16				16	講義34				
17	講義17				17	講義35				
18	講義18									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 インテリアデザイン科 建築CGデザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	ビジネス能力	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス2級・3級に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	前期は出席率をもって評価する。後期は本試験の結果をもって評価するが、本試験不合格者は定期試験（模擬試験）・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 インテリアデザイン科 建築CGデザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	環境社会	総時間	前期	4.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	環境社会検定試験（eco検定）に合格できる能力を身に付けさせる。										
評価方法	前期は出席率をもって評価する。後期は本試験の結果をもって評価するが、本試験不合格者は定期試験（模擬試験）・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	講義1					1	講義19				
2	講義2					2	講義20				
3	講義3					3	講義21				
4	講義4					4	講義22				
5	講義5					5	講義23				
6	講義6					6	講義24				
7	講義7					7	講義25				
8	講義8					8	講義26				
9	講義9					9	講義27				
10	講義10					10	講義28				
11	講義11					11	講義29				
12	講義12					12	講義30				
13	講義13					13	講義31				
14	講義14					14	講義32				
15	講義15					15	講義33				
16	講義16					16	講義34				
17	講義17					17	講義35				
18	講義18										
備考											

学科	建築学科 住宅デザイン科 インテリアデザイン科 建築CGデザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	福祉住環境コーディネーター	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	福祉住環境整備の基本的視点として欠かせない福祉の考え方をはじめ、福祉住環境コーディネーターの心構えと役割、関連専門職との連携のとり方、自立した住生活を支える施策をトータルに捉えるようにする。 東京商工会議所認定の福祉住環境コーディネーター2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	前期は出席率をもって評価する。後期は本試験の結果をもって評価するが、本試験不合格者は定期試験（模擬試験）・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 インテリアデザイン科 建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築施工管理技術	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導 目標	2級建築施工管理技術検定試験を合格を目標にして、入学してから学習した建築全般（計画・法規・構造・施工）の知識の総復習を行う。									
評価 方法	前期は出席率をもって評価する。後期は本試験の結果をもって評価するが、本試験不合格者は定期試験（模擬試験）・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備 考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 インテリアデザイン科 建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	管工事施工管理技術	総時間	前期	4.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	2級管工事施工管理技術検定試験の合格を目標に管工事に関する基礎知識、専門知識、施工管理、関係法規について修得させる。										
評価方法	前期は出席率をもって評価する。後期は本試験の結果をもって評価するが、本試験不合格者は定期試験（模擬試験）・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	講義1					1	講義19				
2	講義2					2	講義20				
3	講義3					3	講義21				
4	講義4					4	講義22				
5	講義5					5	講義23				
6	講義6					6	講義24				
7	講義7					7	講義25				
8	講義8					8	講義26				
9	講義9					9	講義27				
10	講義10					10	講義28				
11	講義11					11	講義29				
12	講義12					12	講義30				
13	講義13					13	講義31				
14	講義14					14	講義32				
15	講義15					15	講義33				
16	講義16					16	講義34				
17	講義17					17	講義35				
18	講義18										
備考											

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	数学	総時間	前期	2.0×18
	後期									
指導目標	これからの学習に必要な数学の基礎を確実なものとし、数学的思考方法を身に付ける。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
1	数について・整式の計算方法									
2	単位とその成り立ち									
3	比と比例について									
4	関数とグラフ									
5	一次関数									
6	"									
7	二次関数									
8	"									
9	指数法則と指数関数とは									
10	対数法則と対数関数とは									
11	図形について（幾何学）									
12	"									
13	三角比と三角関数とは									
14	ベクトル（線形性）について									
15	論理と集合について									
16	建設業で使う数学とは									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア概論	総時間	前期 後期	2.0×18
指導目標	空間の各分野に携わる実務者らが、1回ごとに専門について講義し、空間デザイン業界の概要、現状を理解する。建築・インテリアの分野について幅広い見識を養うため、身近な題材を様々な角度から調査、研究させることにより、発想力を高め、さらに調査結果に基づく論理的な企画、立案ができる力をつける。 また、「建築」を身近なものとし、これから始まる学習の方向性を示すとともに、各専門科目の概要と実務との関連を理解させる。									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築業界の現状と展望									
2	民家集落博物館での講義・見学									
3	建築とは、建築を創る・街を創る									
4	"									
5	住宅の設計									
6	"									
7	色、素材の活用・イメージづくり									
8	"									
9	インテリアスタイリング									
10	店舗のデザイン									
11	照明のデザイン									
12	福祉住環境・ユニバーサルデザイン									
13	"									
14	空間CGデザインとは									
15	建築業界とデジタルプレゼンテーション									
16	"									
17	スーパーゼネコンの仕事・建築施工									
18	"									
備考										



学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア計画	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>日常の生活と建築・インテリアとの関わりについて考えさせるとともに、建築・インテリア計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。生活空間のあり方を人間のサイズや行動からとらえたうえで、色、形、材質及び、その構成や、構造が及ぼす影響を理解し、創造的で豊かな建築・インテリアの計画を目指す姿勢を養う。</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築計画									
2	"									
3	"									
4	"									
5	"									
6	"									
7	"									
8	"									
9	"									
10	インテリア計画									
11	"									
12	"									
13	"									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	"									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築史 I	総時間	前期 後期	2.0×18
指導目標	日本建築及び西洋建築の発展過程を理解させ、建築技術者に必要な建築的知識を身に付けさせる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築様式について									
2	西洋 古代の建築									
3	"									
4	西洋 中世の建築									
5	"									
6	西洋 近世の建築									
7	"									
8	西洋 近代の建築1									
9	"									
10	西洋 近代の建築2									
11	"									
12	日本 古代の建築									
13	"									
14	日本 中世の建築									
15	"									
16	日本 近世の建築									
17	"									
18	"									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学 I	総時間	前期 後期	2.0×18
指導目標	<p>静定力学の基本である反力を確実に理解できるようにすると共に、建築物の骨組みが、力学的にどのような働きを成しているのか理解させる。また、部材内に流れる力（応力）を求める基礎固めをしていく。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	関数電卓の使い方									
2	力の基本（モーメント・合成と分解）									
3	"									
4	"									
5	"									
6	力のつりあい									
7	"									
8	"									
9	構造物の安定・不安定・静定・不静定									
10	反力（単純梁の反力）									
11	"									
12	反力（片持梁の反力）									
13	"									
14	反力（静定ラーメンの反力）									
15	"									
16	"									
17	演習問題									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	各種構造の概要を理解させ、設計等の実践に対する応用力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	総説・建築構法の変遷・建築構造の分類									
2	木構造の概要 木構造を構成する各部材・木材の性質									
3	軸組・土台・柱									
4	桁・胴差									
5	筋違・火打・貫・間柱									
6	地付床（1階床組）									
7	上階床（1階床組）									
8	上階床（2階床組）									
9	小屋組									
10	”									
11	基礎・軸組・床組／断面算定									
12	小テスト 小屋組の考え方・寄棟屋根のかけ方									
13	小テスト ビデオ「家はこうしてできる」									
14	天井・壁・床									
15	”									
16	床の間回り・床脇・書院									
17	建具・階段									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリア基礎製図演習	総時間	前期 後期	8.0×18
指導目標	木造における一般図や詳細図の基本事項をトレースを通じて習得させ、製図技法や表現能力を身に付けさせる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ガイダンス・建築製図の説明基本技法の練習 線・文字・数字の練習									
2	" 表示記号									
3	木造2階建住宅 写図 平面図(1階)									
4	平面図(2階)									
5	断面図									
6	立面図									
7	"									
8	配置図・面積表									
9	基礎伏図・1階床伏図									
10	2階床伏図・小屋伏図									
11	矩計図									
12	"									
13	木造2階建住宅 設計課題 課題説明・エスキース									
14	エスキース									
15	作図(立面図・断面図)									
16	作図(矩計図)									
17	総合提出									
18	講評会									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	I Tリテラシー	総時間	前期 後期	2.0×18
指導目標	パソコンの起動、終了、保存、マウス・キーボード操作、基本用語、PC各部の名称などの基本を学び、MicrosoftOfficeの操作を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	パソコン基礎 パソコン初期設定・Officeインストール									
2	word基本									
3	〃									
4	〃									
5	〃									
6	〃									
7	excel基本									
8	〃									
9	〃									
10	〃									
11	〃									
12	PowerPoint基本操作									
13	〃									
14	〃									
15	〃									
16	プレゼンテーション課題									
17	〃									
18	発表									
備考										

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリアデザイン演習	総時間	前期 後期	4.0×18
指導目標	さまざまな単位空間をコンセプトワークによって創造させることにより、イメージを空間化する能力やプレゼンテーション能力を養う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	美しい形をつくろう									
2	色相環									
3	"									
4	"									
5	"									
6	色彩構成									
7	"									
8	"									
9	"									
10	5Mキューブ									
11	"									
12	"									
13	"									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	発表									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科 住宅デザイン科 建築CGデザイン科 インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	レンダリング演習 I	総時間	前期 後期	4.0×18
指導目標	立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	似顔絵デッサン									
2	似顔絵デッサン 発表									
3	デッサン基礎 (グレースケールと立方体)									
4	デッサン基礎 (ビール瓶と空き缶)									
5	"									
6	アイソメ・アクソメ									
7	"									
8	"									
9	"									
10	グリッド									
11	"									
12	"									
13	1点透視									
14	"									
15	"									
16	2点透視									
17	"									
18	"									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									



学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築計画 I	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	<p>日常生活と建築との関わりについて考えさせるとともに、建築計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	建築計画について空間の形態			
						2	"			
						3	"			
						4	人間の知覚と行動			
						5	"			
						6	寸法と規模の計画			
						7	"			
						8	"			
						9	空間の性能			
						10	"			
						11	計画の技法・外部空間の構成と配置計画			
						12	"			
						13	"			
						14	計画各論住宅（独立住宅・集合住宅）			
						15	"			
						16	"			
						17	"			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築計画Ⅱ	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>日常生活と建築との関わりについて考えさせるとともに、建築計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ホテル・旅館									
2	"									
3	病院・診療所・老人保健施設									
4	"									
5	学校・幼稚園・保育所									
6	"									
7	"									
8	事務所・庁舎									
9	"									
10	"									
11	劇場・コミュニティセンター									
12	"									
13	"									
14	商店・百貨店・ショッピングセンター									
15	"									
16	図書館・博物館・美術館									
17	"									
18	"									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・デザイン史	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	現代のデザインにつながる様式やスタイルが形成された、産業革命以降の西洋と日本を中心に建築・インテリアデザインの変遷について考察していく。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	西洋 近代の建築			
						2	"			
						3	"			
						4	"			
						5	"			
						6	日本 近代の建築			
						7	"			
						8	"			
						9	"			
						10	"			
						11	日本と世界の現代建築			
						12	"			
						13	"			
						14	"			
						15	"			
						16	21世紀の建築			
						17	"			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	環境工学	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	室内の環境設計に必要な空気、熱、光、音等の環境要素について、基礎的知識を理解させる。 また、資格試験対策につながるように、演習問題を解かせて理解させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	気候（1）概論			
						2	伝熱と結露（1）伝熱			
						3	伝熱と結露（2）空気線図			
						4	伝熱と結露（3）結露			
						5	換気と通風（1）自然換気			
						6	換気と通風（2）機械換気			
						7	日照と日射（1）太陽位置			
						8	日照と日射（2）日照と日影			
						9	日照と日射（3）日射			
						10	光環境（1）測光量			
						11	光環境（2）採光			
						12	光環境（3）照明			
						13	色彩			
						14	音環境（1）音の性質			
						15	音環境（2）騒音・遮音			
						16	音環境（3）音響計画			
						17	都市環境			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築設備	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築設備の役割およびその種類・構成を理解させ、地球環境問題・建物の省エネルギーとの関わりについて急速に変化する社会情勢を考慮しながら、それぞれの設備について理解させ、建築計画に応用させる能力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	建築設備とは			
						2	給水設備 1			
						3	給水設備 2			
						4	給湯設備・ガス設備			
						5	排水・通気設備 1			
						6	排水・通気設備 2			
						7	衛生器具設備			
						8	消火設備			
						9	空気調和設備とは			
						10	空気調和と室内環境			
						11	空調負荷			
						12	空気調和方式の種類			
						13	熱源方式			
						14	空調調和機器と部材			
						15	換気・排煙設備			
						16	電気設備1			
						17	電気設備2			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築法規	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築基準法の概要を理解させ、建築法規と建築デザインの関わりについて考える力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築法規の概要									
2	建築基準法：用語の定義									
3	面積・高さ・階数の算定方法									
4	集団規定（道路・用途制限）									
5	"（容積・建ぺい率）									
6	"（高さ制限1）									
7	"（高さ制限2）									
8	単体規定（天井高・床高）									
9	"（採光・換気）									
10	"（階段）									
11	"（避難施設）									
12	"（防火関係用語）									
13	"（防火区画・内装制限）									
14	制度規定（確認・その他）									
15	関係法令（建築士法）									
16	"（都市計画法・建設業法）									
17	"（消防法・品確法ほか）									
18	まとめ									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学Ⅱ	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	静定構造物の応力算定および応力図の描き方を理解する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	反力のまとめ			
						2	応力（単純梁の応力）			
						3	"			
						4	"			
						5	"			
						6	応力（片持梁の応力）			
						7	"			
						8	"			
						9	応力（静定ラーメンの応力）			
						10	"			
						11	"			
						12	"			
						13	応力（静定トラスの応力）			
						14	"			
						15	"			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	構造力学Ⅲ	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	構造力学Ⅰ／Ⅱで学んだ静定構造力学の知識を基本に不静定構造物の解き方を理解させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	力の釣り合い～静定構造力学のまとめ									
2	安定と不安定-静定と不静定									
3	"									
4	断面の諸係数									
5	"									
6	応力度とひずみ度									
7	"									
8	各種応力度									
9	"									
10	断面の核・座屈									
11	骨組みに生じる力と部材の変形									
12	"									
13	たわみ角法									
14	"									
15	"									
16	固定モーメント法									
17	"									
18	終局強度									
備考										



学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	構造設計	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	構造力学と構造計画の関連を理解させ、建築計画やデザインにどのように反映されているかを習得させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	基礎となる物理学			
						2	"			
						3	構造設計の流れ			
						4	荷重			
						5	鉄筋コンクリート構造の設計			
						6	"			
						7	"			
						8	"			
						9	"			
						10	鉄骨構造の設計			
						11	"			
						12	"			
						13	"			
						14	"			
						15	2次設計			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造Ⅱ	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	各種構造の概要を理解させ、設計等の実践に対する応用力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	RC造 RC造の特徴			
						2	主体各部の構造			
						3	"			
						4	"			
						5	基礎構造			
						6	"			
						7	"			
						8	RCの材料			
						9	"			
						10	柱・梁の配筋			
						11	"			
						12	壁式構造の特徴			
						13	耐力壁の壁厚及び壁量			
						14	S造 S造の特徴・構造概要			
						15	主体各部の構造			
						16	接合方法			
						17	溶接の種類			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築材料	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築物の設計、構造計画、施工のために必要な建築材料の基本的な性質等について理解させるとともに、設計製図、一般構造等との関連性を重視し、より適正な材料の使用方法を習得させる。前半は構造用材料、後半は非構造用材料（内外装材・機能材料）について講義する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	概要			
						2	木材			
						3	"			
						4	コンクリート			
						5	"			
						6	鋼材			
						7	"			
						8	非鉄金属材料			
						9	石材			
						10	ガラス・陶磁器			
						11	左官材料			
						12	プラスチック			
						13	塗 料・接着剤			
						14	外壁パネル・カーテンウォール			
						15	内装材料(床・壁・天井)			
						16	防水材料・シーリング材			
						17	防火・断熱・防音材料			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築施工	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	各種仕上げ工事の施工法及び『施工技術とインテリアデザイン』あるいは『施工法と仕上がり』の関係について現場の実状を理解することにより、その重要性、面白みを実感させる。また、内・外装材を中心にした実例による演習により、コスト感覚を養い、積算実務の基礎を習得させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	イラストによる建築工程									
2	施工・積算の概要（構造材料）									
3	工事費・単価・数量積算の流れ									
4	防水・左官工事									
5	"									
6	石・タイル工事									
7	"									
8	建具・ガラス工事									
9	"									
10	塗装工事									
11	"									
12	内装工事									
13	"									
14	断熱工事									
15	"									
16	実例による見積書作成									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築積算	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築における建築積算の重要性を認識させるとともに、実務に即応できる積算技術と積算価格の構成技術を習得させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築における積算の概要									
2	数量積算基準について									
3	土量の数量積算									
4	"									
5	"									
6	コンクリートの数量積算									
7	"									
8	型枠の数量積算									
9	"									
10	鉄筋の数量積算									
11	"									
12	外部仕上げの数量積算									
13	"									
14	"									
15	内部仕上げの数量積算									
16	"									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築総論	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	1年次、2年次の内容の復習と整理を含め、関連する研究や見学などを行う。今まで習得した技術と知識を、建築・インテリア・CG業界での就職に応用できるよう広く、社会に目を向けて、新しい空間提案のあり方を模索する。また現在活躍している建築実務家の作品・講義等を通じて、「建築とは何か」、「建築する行為とは何か」、「建築家はどうあるべきか」等について理解・考察させ、今後の自己啓発を促す。									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	特別講義1			
						2	" 2			
						3	" 3			
						4	" 4			
						5	" 5			
						6	" 6			
						7	" 7			
						8	" 8			
						9	" 9			
						10	" 10			
						11	" 11			
						12	卒業制作サポート			
						13	"			
						14	"			
						15	"			
						16	"			
						17	"			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	建築設計演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	<p>実際の計画地敷地調査からコンセプトをまとめるための資料収集、エスキース、一般製図、ボリューム模型、などを思考、制作しながらクライアントに対して自己表現の方法論、プレゼンテーション手法などを学ばせる。</p> <p>体系的な創作力を養い建築家、デザインクリエイターとして社会に貢献できる力をつけさせる。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション									
2	敷地調査、データ収集、コンセプト作り									
3	コンセプト									
4	コンセプトまとめ、エスキース									
5	エスキース									
6	エスキース									
7	エスキース、ボリューム模型									
8	一般図 平面計画									
9	平面計画									
10	平面図、配置図									
11	立面図、断面図									
12	立面図、断面図									
13	平面詳細									
14	平面詳細、部分詳細									
15	まとめプレゼンレイアウト									
16	レイアウト									
17	レイアウト、提出									
18	発表会									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	CAD演習	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	CAD技術の基礎の習得と建築製図の知識を深めることによって、さらに早く正確な図面を作図できるように理解を深める。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	CADの基本1			
						2	RC造2階建事務所ビル写図 配置図			
						3	RC造2階建事務所ビル写図 配置図			
						4	RC造2階建事務所ビル写図 平面図			
						5	RC造2階建事務所ビル写図 平面図			
						6	RC造2階建事務所ビル写図 平面図			
						7	RC造2階建事務所ビル写図 立面図			
						8	RC造2階建事務所ビル写図 立面図			
						9	RC造2階建事務所ビル写図 断面図			
						10	RC造2階建事務所ビル写図 断面図			
						11	RC造2階建事務所ビル写図 矩計図			
						12	RC造2階建事務所ビル写図 矩計図			
						13	S造2階建事務所ビル写図配置図			
						14	S造2階建事務所ビル写図平面図			
						15	S造2階建事務所ビル写図 立面図			
						16	S造2階建事務所ビル写図断面図			
						17	S造2階建事務所ビル写図矩計図			
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									



学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	CG・DTP基礎演習 I	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	色彩・レイアウトなどグラフィックデザインの基礎を学ぶと共に、IllustratorとPhotoshopの基本操作を習得し、建築・インテリアのプレゼンテーションにおける図面・ボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を身につける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	Adobeインストール・自己紹介			
						2	Photoshop①			
						3	Photoshop②			
						4	Photoshop③			
						5	Photoshop④			
						6	Photoshop⑤			
						7	Photoshop⑥			
						8	Photoshop⑦			
						9	Illustrator①			
						10	Illustrator②			
						11	Illustrator③			
						12	Illustrator④			
						13	Illustrator⑤			
						14	Illustrator⑥			
						15	Illustrator⑦			
						16	Illustrator⑧			
						17	Illustrator⑨			
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	CG・DTP応用演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	<p>CG・3DCADの分野では、CGソフトそれぞれの強みがはっきりと分かれ、設計事務所やデザイン事務所の特色に応じてソフトを使い分ける事も多くなっている。この授業ではデザイン能力を、最大限アウトプットする能力を身につけることを目的としている。</p> <p>CGソフトの特性・強みを存分に活かすための実践技術を、初歩の基本操作から段階的にし、3dsMAXを使ったCGパース製作技術や、Photoshopによるテクスチャマッピングとそのバリエーション制作手法を習得する。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	3dsMAXインストール									
2	基本操作									
3	基本操作									
4	基本操作									
5	モデリング①									
6	モデリング②									
7	モデリング③									
8	モデリング④									
9	モデリング調整									
10	モデリング調整									
11	マテリアル①									
12	マテリアル②									
13	マテリアル③									
14	レンダリング①									
15	レンダリング②									
16	レンダリング③									
17	最終調整									
18	最終調整									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	B I M演習 I	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	ArchiCADを用いてBIMの理解を深めると共に、基本操作、モデリング、図面作成、プレゼンテーションにいたるまでの技術を習得させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。 課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	自己紹介 Archicadインストール			
						2	Archicad基本操作説明			
						3	Archicad応用① 平面、モデリング、立面、断面			
						4	"			
						5	"			
						6	"			
						7	"			
						8	"			
						9	"			
						10	"			
						11	Archicad応用①平面、モデリング、立面、断面			
						12	"			
						13	"			
						14	Archicad応用②パース、レイアウト			
						15	"			
						16	"			
						17	課題提出・まとめ			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	B I M演習Ⅱ	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	1年生で習得したArchicadを応用し、一般図から実施図のモデリング及び作図能力を学び、自身で考え、運用できる能力を身につける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション木造軸組3D作成									
2	"									
3	"									
4	"									
5	木造軸組3D作成									
6	"									
7	"									
8	"									
9	RC造事務所ビル 詳細図									
10	"									
11	"									
12	"									
13	"									
14	"									
15	"									
16	"									
17	まとめ									
18	"									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	BIMデザイン演習 I	総時間	前期		
									後期	4.0×17	
指導目標	BIMソフトを使用し、様々な単位空間をコンセプトワークによって創造させることにより、コンセプト力（思考能力）やイメージを空間化（3次元的展開能力）する力、プレゼンテーション能力などを養う。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	設計課題Ⅰ（犬または猫のための建築）	課題説明・設計の進め方			
						2	エスキース				
						3	作 図				
						4	作品評価・発表会				
						5	設計課題Ⅱ（戸建住宅） 課題説明・現地調査				
						6	エスキース				
						7	”				
						8	作 図				
						9	”				
						10	作品評価・発表会				
						11	設計課題Ⅲ（公衆トイレのあるポケットパーク）	課題説明・実例研究			
						12	エスキース				
						13	”				
						14	作 図				
						15	”				
						16	作品評価・発表会				
						17	まとめ				
備考											

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	デジタルプレゼンテーション演習	総時間		
									後期	4.0×17
指導目標	<p>これまでに習得したソフトを応用し、作品をよりわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる技術やテクニックを習得させる。</p>									
評価方法	<p>課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	オリエンテーション			
						2	課題① 自分の好きなもの・ことのプレゼン			
						3	"			
						4	"			
						5	"			
						6	課題② 卒業設計の設計概要のプレゼン			
						7	"			
						8	"			
						9	"			
						10	発表			
						11	課題③ プレゼン資料作成			
						12	"			
						13	"			
						14	課題④ 卒業制作プレゼンボード作成			
						15	"			
						16	"			
						17	課題提出			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	建築設計演習Ⅱ (二級建築士製図演習)	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	規模の小さい木造建築やRC造建築をもとに、最低限の製図能力・計画能力を養う。 矩計詳細図や平面詳細図を読み書きするために必要なディテールの知識や作図能力を身に付けさせる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション									
2	木造2階建住宅写図 1 配置図兼平面図									
3	木造2階建住宅写図 2 平面図									
4	木造2階建住宅写図 3 断面図									
5	木造2階建住宅写図 4 立面図									
6	木造2階建住宅写図 5 矩計図									
7	RC造2階建事務所ビル写図 1 配置図									
8	RC造2階建事務所ビル写図 2 平面図									
9	RC造2階建事務所ビル写図 3 断面図									
10	RC造2階建事務所ビル写図 4 断面図									
11	RC造2階建事務所ビル写図 5 立面図									
12	木造2階建住宅演習 1 エスキース									
13	木造2階建住宅演習 2 エスキース									
14	木造2階建住宅演習 3 作図(平面・立面・断面図)									
15	木造2階建住宅演習 4 作図(矩計図)									
16	ディテール演習課題1(開口部廻り)									
17	ディテール演習課題2(基礎廻り・屋根廻り)									
18	まとめ									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	CG・DTP基礎演習Ⅱ	総時間	後期 前半 後期 後半	2.0×17 4.0×17
指導目標	<p>前期で習得したグラフィックソフトのスキルを課題を通じて具体的なもの制作し、デザインの現場で通用する技術や知識を習得する。</p> <p>(前半) 空間デザインには、欠かせない、色、素材、形をイメージできる表現力を習得する。</p> <p>(後半) デザインの制作目的を明確化し、表現すべき内容を正確に捉える力や、求められる情報をクライアントに届けられるコミュニケーション能力をグラフィックデザインを通して、習得する。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)			
1	Photoshop①					1	オリエンテーション色彩心理 1			
2	Photoshop②					2	色彩心理 2			
3	Photoshop③					3	色の配色			
4	Photoshop④					4	カラープランニング 1			
5	Photoshop⑤					5	カラープランニング 2			
6	Photoshop⑥					6	カラープランニング 3			
7	Illustrator①					7	発表会			
8	Illustrator②/ポートフォリオ					8	オリエンテーション			
9	Illustrator③					9	使用フォント見本帳作成			
10	Illustrator④					10	"			
11	ポートフォリオ					11	課題ステップ 1			
12	"					12	課題ステップ 2			
13	"					13	課題ステップ 3			
14	"					14	課題ステップ 4			
15	"					15	"			
16	発表会					16	発表会			
17	"					17	"			
備考										



学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	CG・DTP応用演習Ⅱ	総時間	後期 前半 後期 後半	2.0×17 4.0×17
指導 目標	CGを用いた企画プレゼンテーション、設計図面、完成イメージパース等の作成のプロセスを今までに学習したソフトの操作を応用、発展させながら卒業制作のプレゼンテーションを完成させる。内部～外部空間の立体感、質感を正確で魅力的にデジタル表現させ、かつ個性、迫力、存在感のあるアピールできるボードを作成できる能力と感性を養う。また、最新のソフトの習得をする。									
評価 方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)			
1	オリエンテーション					1	CGパース レタッチ			
2	3dsMAX					2	"			
3	"					3	"			
4	"					4	"			
5	"					5	"			
6	"					6	"			
7	"					7	"			
8	"					8	"			
9	"					9	"			
10	"					10	"			
11	"					11	"			
12	卒業制作 CG制作					12	"			
13	"					13	"			
14	"					14	"			
15	"					15	"			
16	"					16	"			
17	"					17	"			
備 考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	BIMデザイン演習Ⅱ	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	<p>CG・3DCADの分野では、CGソフトそれぞれの強みがはっきりと分かれ、設計事務所やデザイン事務所の特色に応じてソフトを使い分ける事も多くなっている。この授業ではデザイン能力を、最大限アウトプットする能力を身につけることを目的としている</p> <p>□実務に沿った流れでCGパースを作成し、完成度を高めると共に、CGの活用方法を習得する。</p> <p>■課題内容 カフェのリニューアル課題（1人2案）</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション 課題説明									
2	現況空間のモデリング、担当テーマ決定									
3	コンセプトワーク									
4	エスキース									
5	作図									
6	"									
7	"									
8	マテリアルボード									
9	"									
10	"									
11	中間発表									
12	CG制作									
13	"									
14	"									
15	レタッチ、DTP									
16	"									
17	プレゼンテーション									
18	講評会									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作	総時間		
									後期	8.0×17
指導目標	<p>卒業制作は、過去の学習によって得た知識・技能をひとつの作品制作をとおして体系的にまとめあげ、表現することを目的とする。従って設計にあたっては、今までの履修した各教科目に留意し、これらと総合して各自の知識・技能を十分に発揮した独創性のある計画内容と表現技法を要求する。</p> <p>(1)社会性・地域性・周辺環境を考慮する (2)現代社会の中で、必要とされる建築は何かを考える  (3)作品の中に自分の考え方・空間性を表現する (4)人に訴えるパワーや感動を与える建築を提案する  (5)プレゼンテーションをしっかりとこなす</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	オリエンテーション 卒業制作について 課題説明			
						2	コンセプトダイアグラム図、コンセプトの方向性検討			
						3	エスキース 手描きスケッチによる構想作り			
						4	エスキースボリューム検討、全体構成検討			
						5	エスキース、ボリューム模型 寸法記入したエスキース、発泡スチロール模型、提出			
						6	エスキース発表会			
						7	一般図 配置・平面計画 コンセプトに基づく配置計画、全体構成			
						8	"			
						9	立面図、断面図			
						10	"			
						11	図面チェック			
						12	完成模型・CGを含むプレゼンボード作成			
						13	"			
						14	クラス内発表会			
						15	手直し・補講			
						16	最終調整			
						17	学科内発表会			
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	住空間デザイン演習 商空間デザイン演習	総時間	前期 後期	4.0×17	
指導目標	<p>お客様の個性やライフスタイルをインテリアデザインに反映させた提案ができる力を養い、様々な要求を満たしながら快適で調和のとれたインテリアデザインとは何かを深く追求し、感性に訴えるかける説得力のある作品作りを目指す。</p> <p>また、すでに学んだプレゼンテーションスキルを活用して実践力、応用力を身につける。</p>										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	オリエンテーション・課題説明				
						2	コンセプトワーク				
						3	コンセプトワーク				
						4	ダイアグラム作成				
						5	図面作成				
						6	ボード作成				
						7	ボード作成				
						8	作品提出				
						9	作品ブラッシュアップ				
						10	作品ブラッシュアップ				
						11	作品ブラッシュアップ				
						12	講義 1				
						13	講義 2				
						14	講義 3				
						15	講義 4				
						16	講義 5				
						17	講義 6				
備考											

学科	建築CGデザイン科	学年	1	区分	実習	科目	ASH	総時間	前期	2.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	<p>学校行事やクラス運営に関する事項の伝達ほか、学生が充実した学生生活をおくれるようにする。 また、学生の進路の自己実現に向けての自主性を育成するとともに、組織的、継続的な調査や各種小テストなどを活かして、学生一人一人の進路の自己実現が図れるように指導する。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	学習の手引き/授業構成について/資格ガイダンス/軽井沢研修概要説明					1	求人情報の見方/インターネット登録			
2	個人面談					2	希望職種・業種/適性検査			
3	個人面談					3	就職指導 エントリーシート（自己分析から自己PR）			
4	個人面談					4	就職指導 エントリーシート（履歴書）			
5	個人面談					5	個人面談			
6	個人面談					6	個人面談			
7	個人面談					7	個人面談			
8	講義 1					8	就職指導			
9	講義 2					9	就職指導			
10	講義 3					10	就職指導			
11	夏休み直前ガイダンス					11	冬休み直前ガイダンス			
12	期末試験ガイダンス					12	求職登録票			
13	講義 4					13	就職指導			
14	講義 5					14	進級ガイダンス・ポートフォリオについて			
15	講義 6					15	就職指導			
16	講義 7					16	就職指導			
17	講義 8					17	就職指導			
18	講義 9									
備考										

学科	建築CGデザイン科	学年	2	区分	実習	科目	ASH	総時間	前期	2.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	<p>学校行事やクラス運営に関する事項の伝達ほか、学生が充実した学生生活をおくれるようにする。  また、学生の進路の自己実現に向けての自主性を育成するとともに、組織的、継続的な調査や各種小テストなどを活かして、学生一人一人の進路の自己実現が図れるように指導する。</p>										
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	インターンシップガイダンス					1	就職指導				
2	インターンシップ先検討					2	就職指導				
3	インターンシップ先検討					3	就職指導				
4	インターンシップ先検討					4	就職指導				
5	個人面談					5	就職指導				
6	個人面談					6	就職指導				
7	個人面談					7	就職指導				
8	インターンシップに向けて①					8	就職指導				
9	インターンシップに向けて②					9	冬期休暇ガイダンス				
10	インターンシップ先決定					10	ビジネススキル				
11	インターンシップ(夏休み)直前ガイダンス					11	ビジネススキル				
12	インターンシップ報告会(1, 2年合同)					12	ビジネススキル				
13	個人面談					13	ビジネススキル				
14	個人面談					14	ビジネススキル				
15	個人面談					15	ビジネススキル				
16	個人面談					16	ビジネススキル				
17	個人面談					17	卒業ガイダンス				
18	個人面談										
備考											